

上場会社名 リズム株式会社 上場取引所
 コード番号 7769 URL <https://www.rhythm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 湯本 武夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山崎 勝彦 (TEL) 048-643-7241
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	23,440	△2.9	556	△23.0	899	△11.1	86	△89.1
2023年3月期第3四半期	24,131	10.8	722	4.5	1,011	6.6	790	△17.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,048百万円(△48.3%) 2023年3月期第3四半期 2,025百万円(38.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	10.42	—
2023年3月期第3四半期	95.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	42,699	29,518	69.1
2023年3月期	39,738	28,873	72.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 29,518百万円 2023年3月期 28,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	48.50	48.50
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	48.50	48.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	5.7	850	△4.1	1,250	0.3	400	△49.6	48.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	8,385,093株	2023年3月期	8,385,093株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	129,227株	2023年3月期	128,028株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	8,256,556株	2023年3月期3Q	8,257,625株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来予測情報の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 経営成績及び財政状態の状況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(経営成績の状況)

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年12月31日)における国内及び世界経済は、ウクライナ情勢の長期化に加え、中東情勢の悪化等による地政学リスクや原材料・エネルギーの価格高騰、世界的な金融引き締めに伴う為替への影響や中国経済の低迷等が続きました。また、今後の経済情勢の先行きも依然として不透明な状況にあります。

当社グループは、当第3四半期連結会計期間からの受注回復、大きな業績改善を見込んでおりましたが、このような状況のもと、工作機械関連や家電製品関連において、市況回復ペースが鈍く想定以上に在庫調整局面が長期化しており、業績回復に遅れが出ております。自動車向けの新規案件含む受注は引き続き増加傾向にあり、また、第2四半期連結会計期間のリズム翔栄株式会社の連結子会社化が、精密部品事業の業績に貢献しているものの、第2四半期連結累計期間までの不振を取り戻すには至っておりません。

利益面につきましては、原材料の価格高騰、円安による仕入価格の上昇が業績に影響をあたえました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上は234億40百万円(前期比2.9%減)、営業利益は5億56百万円(前期比23.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益はリズム翔栄株式会社の取得に伴う負ののれん発生益を計上したものの、当社のシステム開発計画の変更に伴うソフトウェア資産(建設仮勘定)や生活用品事業における事業環境悪化に伴う金型資産等の減損損失、当社の連結子会社であるRHYTHM INDUSTRIAL(DONG GUAN) LTD.の生活用品事業における事業環境悪化に伴うリース資産の減損損失を計上したことにより86百万円(前期比89.1%減)となりました。

以上から業績は次の通りとなりました。

(単位：百万円)

		2023年3月期 第3四半期 連結累計期間	2024年3月期 第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	精密部品事業	18,303	18,114	△188	△1.0%
	生活用品事業	5,487	5,020	△467	△8.5%
	その他	340	305	△35	△10.4%
	計	24,131	23,440	△691	△2.9%
営業利益又は営業損失(△)	精密部品事業	1,452	1,364	△88	△6.1%
	生活用品事業	△301	△584	△282	—
	その他	59	56	△3	△5.0%
	調整額	△487	△280	207	—
	計	722	556	△165	△23.0%
経常利益		1,011	899	△112	△11.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益		790	86	△704	△89.1%

これらをセグメント別に見てみますと次のとおりです。

①精密部品事業

国内では、自動車向け新規立上げ案件も含め、受注増加傾向が継続しております。グループ入りしたリズム翔栄業績も自動車向け売上を牽引しております。一方、工作機械関連は中国景気減速による投資抑制から受注低迷が継続、空調を含めた家電製品関連も在庫過多な状況が継続しており、想定以上に受注回復が遅れております。これらにより国内では増収減益となりました。

海外では、中国で自動車向け受注が増加傾向、ベトナムにおいても中国向けが一部回復傾向です。一方、空調向けにつきましては国内同様に在庫過多の状況が継続しており、海外では減収減益となりました。

これらの結果、精密部品事業全体では減収減益となりました。

②生活用品事業

国内では、オンライン販売が引き続き好調に推移しました。新たな事業の柱と位置付けている快適品につきましてはバリエーションを増やし売上にも貢献しておりますが、百貨店、家電量販店、ホームセンターでのクロック店頭販売の売上減少をカバーするにはいたらず、減収となりました。利益面につきましては、為替市場における円安の影響を受け減益、営業損失となりました。

海外では、新たに販売を始めた快適品は好調に推移し売上に貢献しました。クロックにおいては、新たな施策により中国、欧州、中東向け販売が伸びるも、北米、アジア向けは低調な販売となり、その減少分をカバーするにはいたらず減収となりました。利益面では、減収に加え、半導体、原材料の高騰の影響から、減益・営業損失となりました。これらの結果、生活用品事業全体では減収減益、営業損失となりました。

尚、中国拠点においては採算改善に向けた取組を大きく進めましたが、その効果実現には今しばらくの時間を要し、業績への本格的な貢献は来年度を見込んでおります。

③その他

その他事業では、物流関係は堅調に推移しましたが、アルコール検知器等の販売が一服となり、全体では減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の状況)

(資産)

総資産は426億99百万円となり、前連結会計年度末397億38百万円に比べて29億60百万円増加しました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ16億75百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末に比べ12億85百万円増加しました。

(負債)

負債合計は131億80百万円となり、前連結会計年度末108億65百万円に比べ23億15百万円増加しました。流動負債は、支払手形及び買掛金等の増加により前連結会計年度末に比べ7億39百万円増加しました。固定負債は、社債の増加等により、前連結会計年度末に比べ15億76百万円増加しました。

(純資産)

純資産合計は、295億18百万円となりました。為替換算調整勘定の増加等により前連結会計年度末288億73百万円に比べ6億45百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月13日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,899	9,941
受取手形及び売掛金	4,115	5,325
電子記録債権	1,844	1,841
棚卸資産	8,345	9,032
その他	967	709
貸倒引当金	△1	△3
流動資産合計	25,171	26,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,894	5,027
その他（純額）	5,008	6,121
有形固定資産合計	9,902	11,148
無形固定資産		
のれん	46	-
その他	487	244
無形固定資産合計	533	244
投資その他の資産		
投資有価証券	2,585	2,946
繰延税金資産	162	35
その他	1,458	1,548
貸倒引当金	△76	△69
投資その他の資産合計	4,130	4,459
固定資産合計	14,567	15,852
資産合計	39,738	42,699
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,293	3,817
1年内返済予定の長期借入金	907	1,112
未払法人税等	128	115
賞与引当金	343	225
役員賞与引当金	15	-
その他の引当金	14	13
その他	1,642	1,797
流動負債合計	6,344	7,083
固定負債		
社債	1,500	2,500
長期借入金	2,257	2,324
退職給付に係る負債	188	277
その他	575	995
固定負債合計	4,521	6,097
負債合計	10,865	13,180

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	7,540	7,540
利益剰余金	4,584	4,270
自己株式	△278	△280
株主資本合計	24,219	23,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	839	1,100
為替換算調整勘定	3,541	4,317
退職給付に係る調整累計額	272	197
その他の包括利益累計額合計	4,653	5,615
純資産合計	28,873	29,518
負債純資産合計	39,738	42,699

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	24,131	23,440
売上原価	18,977	18,553
売上総利益	5,154	4,887
販売費及び一般管理費	4,431	4,330
営業利益	722	556
営業外収益		
受取利息	4	10
受取配当金	95	117
受取賃貸料	249	258
為替差益	65	103
その他	70	47
営業外収益合計	486	536
営業外費用		
支払利息	20	18
賃貸費用	107	98
特別退職金	-	36
その他	69	39
営業外費用合計	197	194
経常利益	1,011	899
特別利益		
固定資産売却益	2	10
負ののれん発生益	-	299
特別利益合計	2	309
特別損失		
固定資産処分損	0	0
固定資産売却損	1	-
減損損失	-	728
特別損失合計	2	728
税金等調整前四半期純利益	1,012	480
法人税、住民税及び事業税	227	279
法人税等調整額	2	114
法人税等合計	230	394
四半期純利益	782	86
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	790	86

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	782	86
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	297	261
為替換算調整勘定	976	776
退職給付に係る調整額	△30	△75
その他の包括利益合計	1,243	962
四半期包括利益	2,025	1,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,033	1,048
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	精密部品事業	生活用品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,303	5,487	23,790	340	24,131
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	8	20	511	532
計	18,315	5,496	23,811	852	24,663
セグメント利益又は損 失(△)	1,452	△301	1,150	59	1,210

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,150
「その他」の区分の利益	59
セグメント間取引消去	31
全社費用(注)	△378
棚卸資産の調整額	△140
四半期連結損益計算書の営業利益	722

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	精密部品事業	生活用品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,114	5,020	23,134	305	23,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	7	15	499	515
計	18,122	5,027	23,150	804	23,955
セグメント利益又は損 失(△)	1,364	△584	779	56	836

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	779
「その他」の区分の利益	56
セグメント間取引消去	26
全社費用(注)	△387
棚卸資産の調整額	80
四半期連結損益計算書の営業利益	556

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「生活用品事業」において、当社の生活用品事業につきまして、事業環境の悪化に伴い収益性が低下し、当面業績回復が見込まれないことから、金型等の資産につきまして、当第3四半期連結累計期間において1億26百万円の減損損失を計上しております。

また、当社の連結子会社であるRHYTHM INDUSTRIAL(DONG GUAN)LTD.の生活用品事業につきまして、事業環境の悪化に伴い収益性が低下し、当面業績回復が見込まれないことから、リース資産(工場の賃借契約)につきまして、当第3四半期連結累計期間において、3億16百万円の減損損失を計上しております。

報告セグメントに帰属しない全社資産において、システム開発計画の変更によって今後の利用が見込めなくなったソフトウェア資産(建設仮勘定)につきまして、当第3四半期連結累計期間において、2億85百万円の減損損失を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

「精密部品事業」において、当社100%出資子会社としてリズム翔栄株式会社を新規設立し、株式会社翔栄からの事業譲受完了に伴い、第2四半期連結会計期間において、連結の範囲に含めております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間で2億99百万円であります。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(重要な後発事象)

(連結子会社の解散)

当社は、2024年1月29日開催の取締役会において、当社100%連結子会社であるアイ・ネクストジーイー株式会社を解散及び清算することについて決議しました。

1. 解散の理由

当社では、2020年に旧時計事業（現在の生活用品事業）とのシナジーによる成長拡大を目的として、アイ・ネクストジーイー株式会社の買収を実施いたしました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大による活動自粛の影響が長期化し、消費者行動の変化から売上が大きく減少しました。その間、事業改善に向けて業務の合理化・ECサイトのリニューアル・取扱商品の拡充など様々な施策を実施してまいりましたが、2023年3月期には債務超過に至りました。2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類移行した後も販売不振の状況は改善されず、今後も収益性改善を図ることは難しいと判断し、解散することを決定いたしました。

2. 解散する連結子会社の概要

(1) 名称	アイ・ネクストジーイー株式会社	
(2) 所在地	埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-299-12	
(3) 代表者の役職・指名	代表取締役社長 北坂 享正	
(4) 事業内容	海外ブランド時計輸入販売業	
(5) 資本金	10百万円	
(6) 設立年月日	1989年12月22日	
(7) 出資者及び持分比率	当社 100%	
(8) 上場会社とアイ・ネクストジーイー株式会社の関係	資本関係	当社が100%出資しております。
	人的関係	当社より常勤取締役2名、社外取締役2名、社外監査役1名を派遣しております。
	取引関係	当社より運転資金を貸し付けております。
	関連当事者への該当状況	当社の連結子会社であり、関連当事者に該当します。

3. 解散の日程

2024年1月29日	当社取締役会によるアイ・ネクストジーイー株式会社の解散決議
2024年3月29日	アイ・ネクストジーイー株式会社臨時株主総会による解散決議及び解散
2024年6月頃（予定）	清算終了

4. 解散による損益への影響

アイ・ネクストジーイー株式会社の解散及び清算に伴う当社連結業績への影響については、現在精査中でありませ

す。また、当社からの貸付金の一部については貸倒引当金を計上済みではありますが、清算に伴い追加で発生する貸倒損失につきましては現在精査中でありませ

す。なお、アイ・ネクストジーイー株式会社が営む事業の一部については他社への譲渡を検討しております。